

令和6年度銚田地域農業学園第6回講座  
「銚田地域農業青年プロジェクト実績発表会」を開催しました

令和7年1月30日（木）、普及センターでは農業学園生や銚田市4Hクラブ員、助言者等あわせて18名の農業関係者参加のもと、農業学園第6回講座「銚田地域農業青年プロジェクト実績発表会」を開催しました。

講座では、個人プロジェクト活動として神栖市の高橋大翔氏より「猛暑を乗り切る！ピーマンハウスの夏季高温対策」、共同プロジェクト活動として銚田市4Hクラブ会長の鈴木徹哉氏より「カンショの高温対策による品質向上」の発表が行われました。出席者からは、供試資材の選定理由や他の高温対策についての質問があり、活発なやりとりが行われました。そして、助言者から話す速さなど発表の仕方や質疑応答の対策についてご助言をいただくとともに、「どの品目でも高温は課題だと思うので、こういった対策を今後積極的に取り組んでほしい」と激励をいただきました。

発表後は農業総合センター専門技術指導員室 原専門技術指導員より「雇用のための収支シミュレーション」をテーマに、売上・人件費・面積を用いた収支計算の仕方、雇用する際の注意点等についての講義が行われました。参加者からは、「このシミュレーションを実際に活用していきたい」といった感想があり、関心の高さが伺えました。

普及センターでは今後も新規就農者等の経営発展に向けて支援を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手づくり）



発表の様子（写真左：高橋氏、写真右：鈴木氏）